畜大だより

OBIHIRO UNIVERSITY OF AGRICULTURE AND VETERINARY MEDICINE

2019. 4. 1



目 次

新入生諸君へ	学長		奥田 潔	1
課程・別科紹介	共同獣医学課程	教授	石川 透	2
	畜産科学課程	教授	大和田琢二	3
	別科	教授	三浦秀穂	4
在来生所感	共同獣医学課程	1年	坂本有弥	5
	畜産科学課程	1年	酒井駿太朗	5
	畜産科学課程	1年	野村凪沙	6
	別科	1年	丹下奈美	6
入試・教務課から	学位記並びに修了証書授与式が行われる			7
学生支援課から	飲酒について			8
	ＳＮＳ利用にあたって			8
	悪徳商法にご注意！			8
	交通事故防止			9

帯広畜産大学

新入生諸君へ



「人生の歩む道を見つける時間」

学長
奥田　潔

新入生の皆さん，入学おめでとう。これからスタートする大学生活に期待で胸を膨らませていることと思います。「高度な知識と技術を身に付ける」という初心を忘れることなく，有意義な学生生活を送っていただきたいと思います。本学は，日本の食料基地として知られる広大な十勝平野に位置し，日高山脈から大雪山系へと連なる山々の裾野から太平洋へと広がる大地と遮るもののない大空を背景に，四季を通じて美しい自然を満喫することができます。このような恵まれた自然環境は皆さんの多様で個性的な夢と希望を迎え入れ，農学・畜産学・獣医学を修めるのに最適の環境であると思います。

本学は，《「食を支え，暮らしを守る」人材の育成を通じて，地域及び国際社会に貢献する》をミッションとし，実学（実際に役立つ学問，応用を重んじる科学）を基調とした教育・研究を展開しています。農学とは，食料の確保だけでなく，「食の安全・安心」を担保し，生命や生活を保障するための多くの課題を見いだし，解決していくための学問です。TPPをはじめ国際的なボーダーレス化が進む中，食料自給率の低下，農業者の高齢化，農地面積の減少，農村の活力低下など，日本の食料生産をめぐる情勢は大きく変化しています。こうした情勢の変化に対応するため，本学は国際レベルの教育・研究を標榜し，日本における大学施設としては初の国際食品安全衛生基準（FSSC22000）や国際安全試験所基準（ISO17025）を取得して，それらを実践しています。卒業生の多くは，本学のミッションに沿うように，獣医・農畜産業社会における職業専門人として，日本ばかりでなく海外でも多彩な活躍をしています。

皆さんは本学に入学した目的や人生の目標は明確ですか？漠然としている人が多いのではないでしょうか。本学において皆さんが所属する各ユニットには，どのような人材を育成するかの理念（ディプロマポリシー）に沿った必修科目や選択科目など，卒業時点までに習得すべき講義・実習科目などを示した「履修の手引き」が用意されています。また，科目ごとに勉学をスムーズに進めるための案内書（学習計画書）として「シラバス」が用意され，そこには学習達成度（成績）を評価する指標も示されています。しかし，大学は人生の道筋（プラン）までは立てられません。まだ具体的な目標の決まっていない人も，いつか自らの人生の進む方向を決断し，それに向かって歩み始めなければなりません。

畜産科学課程の入学生には４年間，共同獣医学課程には６年間，また別科には２年間の時間があるので焦る必要はありません。その間皆さんには，初心を忘れず高い志を持ち続け，講義や実習に積極的に取り組むことはもちろん，クラブ活動やボランティア活動など課外活動にも積極的に参加して欲しいと思います。講演会や音楽会など文化的イベントにも積極的に足を運び，多様な人々の考えや文化に触れることも大切です。そうしたプラスアルファの活動こそが，多種多様な人々や文化を受け入れられる幅広い人間性を産むに違いありません。

本学は，皆さんが「自らの人生の歩む道」を自ら見いだし，自信を持って歩めるようになるお手伝いをします。勉学はもちろんのこと，多くのことに積極的に取り組み，本学ですごす時間が，皆さんの「人生の歩む道を見つける時間」になることを祈念しています。

課程紹介



共同獣医学課程

教 授
石　川　　透

帯広畜産大学共同獣医学課程の新入生のみなさん，ご入学おめでとうございます。そして，ようこそ帯広畜産大学へ!!これまでの弛まぬ努力が実を結び，難関を突破したみなさんの喜びも一入のことと思います。その喜びとともに，これまで多くの方々に支えられこのスタート地点に立っているということを決して忘れることなく，獣医学を修め且つ獣医師を志す学生として６年間の大学生活を是非充実したものにしていただきたいと思います。

帯広畜産大学と北海道大学による共同獣医学課程は獣医学教育の欧州基準認証の取得をめざし，国際水準の獣医学教育の実践を推進しています。新入生のみなさんは本学の教員だけでなく，北海道大学の教員による獣医学関連の専門科目の授業を受講することになります。本学は“日本の食糧供給基地”である北海道十勝という恵まれた自然環境に囲まれていることはもちろんのこと，産業動物臨床施設，食肉検査施設，毒性，微生物および病理検査・診断施設を含む多くの最先端設備を備えていることから，特に産業動物獣医療や衛生学分野に関して国内でも特色のある教育を両大学の学生さん達に提供しています。一方，北海道大学からは人獣共通感染症や伴侶動物獣医療分野などに関する獣医学教育がみなさんに提供されることになります。また，専門教育においては教員間の相互乗り入れだけでなく，両大学の学生さんたちが一堂に会して開講される演習や実習もありますので，情報交換や親睦を深める良い機会にしていただきたいと思います。

共同獣医学課程における１年生の授業は教養科目が中心となりますが，獣医学を学ぶにあたっても必要不可欠な基礎知識や教養だけでなく，広い視野で獣医学を学ぶ必要性について獣医学導入科目で学習します。本学の特色ある授業のひとつである農畜産演習では“様々な生き物のいのちをいただきながら私たちは生きている”ことを知る機会を得ることでしょう。本格的な獣医学専門教育は２年生から始まり，基礎獣医学，病態獣医学，応用獣医学，臨床獣医学の各分野の講義や実習により体系的に学ぶことになります。また，獣医学にとって非常に重要な畜産関連分野についても学びます。各分野の専門科目数の多さはもちろんのこと，各科目の単位取得において要求される知識量はみなさんの想像を超えるものになるかもしれません。これらの教養科目，獣医学専門科目の必要単位数を修得しなければ進級できないシステム（２年生，４年生，５年生進級時）になっているだけでなく，５年生から始まる参加型臨床実習，いわゆる“ポリクリ”の受講条件として，共用試験に合格する必要があります。さらに，最後に専門科目の仕上げとして，みなさんは研究室に配属し指導教員とともに特定の課題研究に取り組み，その成果をまとめあげることになります。これら全てをクリアーした学生さんのみが獣医師国家試験の受験資格を得ることになりますので，十分心して学業にあたっていただきたいと思います。

共同獣医学課程も今年で８年目を迎えます。この春，共同獣医学課程の２期生の学生さん達を社会へ送り出し，新たに８期生である皆さんを迎えることなります。平成31年度は我々教員にとっても共同獣医学課程７年間を総括し，新カリキュラムとともに新たなステップを踏み出す大切な年となります。新入生のみなさんが卒業する時に“帯広畜産大学で学生生活を送って本当に良かった”と思っていただけるよう，教員も全力でみなさんをサポートしたいと思っています。一緒にがんばりましょう。

課程紹介



畜産科学課程

教 授
大和田　琢　二

新入生の皆さん，ご入学おめでとうございます。そして，ご家族の皆様にも心よりお祝い申し上げます。受験生活からの開放感と新生活への大きな期待を抱いておられることと思いますが，若干の不安も胸に抱きながらのスタートかもしません。そんな時，本学のキャンパスにある美しい白樺並木やエゾリスなどの野生動物たちとのひと時を過ごすと心身共にリフレッシュできると思います。

本学が位置する十勝地方の耕地面積は神奈川県1県分を超えるほどの広さで平野というイメージが強いですが，森林が約64％を占め豊かな森もあります。また，十勝は食料自給率が1,000％を超え人口の10倍を養える生産力があり，我が国の主要な食料供給地帯になっています。この恵まれた環境の中で，本学の畜産科学課程では，獣医・農畜産融合の視点から，農場から食卓まで生命・食料・環境を科学し，農畜産の幅広い分野で活躍する人材育成を目的としています。入学された皆さんは，この「農場から食卓まで」の実践編を入学後まもなく全学農畜産実習で受けることになります。この実習は全国的にもユニークな取り組みで，馬鈴薯などの栽培や豚の飼育，搾乳や乗馬，ソーセージの食品加工などの実習を通して，生き物を大切に育て，それが犠牲になり，人間の食糧になっているという農業・畜産の基本を学びます。この実習は共通教育科目群の１つですが，その他に基盤教育の科目群からも学び，１年生で大学で学習する知識や技術の基礎を習得します。

１年生の終わり頃になると，２年生から所属するユニット（教育単位）を決めることになります。ユニットには，家畜生産科学，環境生態学，食品科学，農業経済学，農業環境工学，植物生産科学の６ユニットがあります。入学したばかりでユニットの内容を十分に把握することが難しいかもしれませんが，各ユニットの先生方による授業（農畜産科学概論，キャリア教育など）で紹介されるユニットの内容などを参考にして決めてください。もちろん，ご自分で教員や先輩たちに直接話を聞くこともできます。２年生になると，各ユニットの発展科目の授業が入ってきます。そして，３年生になると，実験実習や多くの専門的な展開教育科目が始まります。中でも，卒業研究は担当教員から個別指導を受け自分の設定したテーマを研究する科目ですので，前期に入ると担当教員を決める準備が始まります。そして，卒業を目指して学習密度も上がり佳境に入ります。卒業後は，もっと学びたい人のために，大学院（畜産学研究科）が設置されています。博士前期課程では６ユニットに対応した６コースが配置され，農畜産学に関する能力と広い見識を持つ人材育成を目指しています。本学は獣医・農畜産融合の特色ある教育環境で博士後期課程まで学べますので，みなさんのチャレンジを期待しています。

大学生活はあっという間に過ぎ去って行くかもしれませんが，あとで振り返った時に良かったと満足できる，充実した学生生活を送ってほしいと願っています。そのために，まず心身共に健康に留意してください。もし何か困難に遭遇しても，一人で重荷を背負わないで，担任の先生や学生相談室に重荷を預けてください。そして，将来自分は何をするべきか，その幻でも見ることができれば，大学生活は1つの大切な目標を達成できたと言えると思います。よく学び良き友を得て，この恵まれたキャンパスで学生を謳歌してください！

別科紹介



別科

教授
三　浦　秀　穂

別科新入生の皆さん，ご入学おめでとうございます。別科主任を務めます三浦秀穂です。よろしくお願いいたします。これを読んでいる今の皆さんは入学式やその他の行事で少し緊張気味でしょうか。それともこれからの大学生活に対する期待感に胸を膨らませていますか。ともあれ帯広畜産大学にようこそ。

まず別科の生い立ちから紹介します。昭和16年（1941）に帯広畜産大学の母体となった帯広高等獣医学校が創立され，本学別科はその19年後の昭和35年（1960）４月１日に産声をあげました。皆さんが２年生に進む2020年には還暦を迎えることになります。この60年間に1200人以上の皆さんの先輩が巣立っています。正式名称は別科（草地畜産専修）ですが，地域では畜大別科の方がなじみあるようです。

次に別科の教育目的についてですが，農業青年に対して科学的な農業知識と技術を付与し，地域農村社会の指導者となるような農業後継者を育てることにあります。教員スタッフは，本学学部教員から構成され，各分野の専門家が基礎学術科目と専門教育科目を担当しています。基礎科目として，生物，物理，化学などの自然科学や人文・社会科学，体育，英語などを学びます。専門科目では，畜産学，草地学，農業機械学，農業経営学等に関する講義や実習が準備されています。履修する際には，基礎科目と専門科目ともに必修科目と選択科目を含んでいますので，それぞれの修了要件単位数に十分注意してください。配布された履修要覧を良く理解するとともに，分からないところは別科担任の和田先生や学級担任に積極的に質問してください。さらに２年生の先輩からもいろいろアドバイスをもらえると思います。

ここでこれらの科目に加えて，別科で開講されているユニークな科目を３つ紹介します。まず，１年生の夏休み期間中に行う「夏期農家実習」です。約３週間にわたって畜産農家に泊まり込んで，現場の作業を体験しながら「他人の飯を食う」ことで，専門的な知識だけでなく人間性を養う実習です。辛いこと楽しいことをいろいろ経験し，それらがきっと皆さんの血となり肉となるでしょう。逞しくなった皆さんにお会いするのが楽しみです。次は，２年生の夏に実施する研修旅行です（「特別実習 II」）。北海道内を３泊４日かけてバスで巡ります。コースや視察先の情報収集，連絡は皆さんが主体となって行います。私も学級担任をした時に稚内までの行程にお供したことがありましたが，北海道農業の多様さに感動した記憶がいまでも残っています。最後に，２年生の前期，後期を通じて行う「特別研究」を紹介します。この科目は学部で言えば「卒論」に該当します。２～４人が１チームとなって農業経営に関わる諸問題の中からテーマを選んで，研究計画を立案し，データの収集と分析を行い，論文として取りまとめます。さらにその成果を学内で口頭発表の形で公表します。苦労も多いようですが，達成感がありまた将来の自身の農業経営にも有益であったと多くの修了生が評価しています。

さて，拙稿に与えられた字数もあと少しになりました。最後に「銀の匙」をまだ読んでいない方には一読することをお薦めします。本学図書館にあります。きっと貴兄、貴女のこれからの十勝，帯広での大学生活に対する期待がより一層膨らむでしょう。それでは，皆さん，元気よくいきましょう。

在来生所感



共同獣医学課程　１年
坂本　有弥

新入生のみなさん，ご入学おめでとうございます。在学所感を書くにあたり私は特に獣医についての話をしようかと思います。新２年生が入学後１年を経て書くことなので「アホが何か言うてるわ〜」という気持ちで読んで頂けると幸いです。私は元々，漠然と小動物の獣医になりたいと思い獣医学部を目指しました。しかし入学をし，大学施設である馬介在室にて生まれて初めて馬を目にしたときこんなに愛くるしい生き物がいるのかと感動したことを今でも覚えています。また６月に「基礎学術ゼミナール」内での南保先生の講義を聴き馬繁殖学に強い興味を持ち馬医になることを決意しました。講義終了後，先生に研究活動に参加したいということを志願し，その日から現在に至るまで研究室の皆様のお手伝いとして活動しています。長期休暇には大動物臨床実習の紹介をして頂いたり，馬繁殖学についてご教授して頂いたりと先生には感謝してもしきれません。また東洋最高レベルの大動物臨床が学べるこの環境に身を置く中で大学関係者の皆様に感謝しています。

さて，私はこのような１年間を過ごしてきましたが獣医クラスの先輩方は「１年の内は暇だから遊ぶべきだよ」と助言すると思われます。果たして本当にそうなのでしょうか？夏休みの実習先でお世話になった先生に言われた言葉で私の心に今でも刻まれているものがあります。「正常が分からなければ異常は分からない」なんてシンプルで簡単なんだろうと私は感動しました。

今，私は馬介在室にて活動しています。職員さん達と毎日の飼養管理や馬の調整運動，また研究室の皆様と診察や研究活動をすることもあります。獣医に限らずやる気のある新入生をお待ちしております。



畜産科学課程　１年
酒井駿太朗

新入生の皆さん，ご入学おめでとうございます。帯広畜産大学の一員となった前途有望な皆さんは，慣れない新生活にも高揚感を覚えていることと思います。社会人に向けての大きな一歩を踏み出す，そんな新入生の門出を祝う帯広の春は，まだ少し寒く感じるのではないでしょうか。

大学生活は誰もが初めての経験です。サークルや仲間と過ごす時間の楽しさ，講義や勉学の忙しさに一年があっという間に過ぎていくでしょう。特にサークルは，帯広の大自然と大自然が生み出す楽しさを凝縮しているものが多く，間違いなく皆さんを虜にすると思います。そんな毎日に，この大学を目指した理由や持って入った夢を忘れてしまうこともあるかもしれません。皆さんには，ぜひ夢の実現と楽しさの両立を目指してほしいです。この大学には，皆さんの夢を応援する環境と，先生の方々，そして志を共にする仲間がいます。

１年生の講義と実習は私にとって新しい世界を見せてくれるものばかりでした。実習では豚や牛，馬などたくさんの動物に触れ合い，畑で育てた野菜と加工した豚肉をクラスの仲間と食べる。この濃密な時間は，私に初めて農業を身近に，そして帯広で日々を過ごしていることを実感させてくれるものでした。新しいことに挑戦するには困難が付きものですが，皆さんにはぜひ新しいこと，興味のあることに手を伸ばし知見を広めてほしいと思います。

新たな学生生活，後悔と失敗に幾度となく直面しますが，そんな出来事もいい思い出と笑える４年後のために，皆さんの１年が勇往邁進なものとなるよう願っています。

在来生所感



畜産科学課程　１年
野村　凪沙

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。

畜大に進学するにあたり，第一希望に合格し，嬉しさと希望で満ち溢れている人，一方で心のどこかで悔いが残っている人など，皆さんそれぞれの思いを抱えていらっしゃることと思います。でも，せっかく入学したなら大学生活を思いっきり楽しみたくありませんか。大学生活は楽しんだもの勝ちだと思います。

ここでしか感じ，学べないことは沢山あります。農家バイトや搾乳バイトは実際の農業を学ぶことができる貴重な経験となりますし，部活やサークルを通じても北海道らしさを感じることができます。ウィンタースポーツや農業系の部活もありますし，またそうでない部活でも遠征で道内を駆け巡ることで，北の大地の素晴らしさを感じることができます。そしてその部活やサークルで出会った同輩や先輩はかけがえのないものとなります。大学での勉強に勤しむことはもちろんですが，自然を大いに感じ，ここでしか体験できないことを思いっきり楽しむことも大切だと思います。

また，一年次には全学農畜産実習があります。野菜を収穫したり，豚を育てて屠畜したり，食品づくりしたりなど大学のポリシーである「農場から食卓まで」を体験できるため，そのような機会も大切にしていくことが自分を豊かにしていけると思います。

大学は「自由」な場所です。自由だからこそ自分から行動しないと何も起きません。でも自ら積極的に行動すれば必ず何かを掴むきっかけが得られます。積極的に沢山の人と出会い，刺激をもらうことで「自分らしさ」を見つけてください。皆さんが有意義な大学生活を送れることをお祈りしております。



別科　１年
丹下　奈美

新入生のみなさんご入学おめでとうございます。受験がおわり，新たに始まる大学生活に期待と不安があると思います。しかし，一度きりの人生の中での大学生活を思いっきり楽しんでもらい後悔のないものにして欲しいと私は思います。

別科では２年間と短くその中でより実践的な事を多く学びます。１年次では，夏季農家実習を行います。学校ではできないような実習を体験する為とても良い経験を積むことができ，また授業では北海道の農業の現状を学ぶ事ができとても濃厚な１年であったなと感じています。また，この１年の中で課題と次の目標を見つけることができました。２年次では，家畜人工授精師や牛削蹄師の資格を習得する為に実習が中心となった授業が増えたり講義はより専門的になってきます。その為１年次以上に充実した学校生活を送ることができると思います。

私は入学する前に将来の夢があり，それを叶える為に講義や実習を受けていましたが，講義を受けていく中で違った考えなどを持つようになり将来の夢が変わっていきました。新入生のみなさんも色んな視点から学んでいくときっと新たな発見ができると思うので沢山の事に挑戦してみて欲しいと思います。大学生活では色々なところで息が詰まってしまうこともきっと出てくるかと思います。ですがそんな時には是非，外に出て自然を感じ，美味しい物を沢山食べて気晴らしして欲しいと思います！そして大学生活を有意義に過ごして下さい！

入試・教務課から

学位記並びに修了証書授与式が行われる



去る３月20日（水）午前10時から本学講堂において平成30年度学位記並びに修了証書授与式が行われました。

式典に先立ち恒例であるマンドリンサークルによる演奏が行われ，多数の家族および教職員が見守る中，奥田　潔学長から共同獣医学課程，畜産科学課程，別科，専攻の代表に学位記並びに修了証書が授与されました。引き続き学長の告辞の後，来賓の砂川敏文　同窓会会長から祝辞があり，帯広畜産大学逍遥歌が流れる中，式が終了しました。

式が終了すると，少し緊張気味だった卒業・修了者達は，早速会場を後にしました。

外では，先輩の晴れ姿を祝おうと，花束を渡し大学生活の思い出話しやサークル活動の苦労話しに華を咲かせていました。

本年度は，学部240名，別科（草地畜産専修）13名，大学院各専攻合わせて46名の合計299名が，畜大での思い出を胸に社会へ巣立っていきました。





学生支援課から

☆飲酒について☆

本学では未成年者の飲酒は，未成年者への酒類の提供，飲酒の強要等を含めて，いかなる場合であっても禁止し，また，退学や停学の処分を行う場合もあります。

コンパ等で飲酒を強要された時は，未成年であることを伝え，はっきり断ってください。拒否したにもかかわらず飲まされた，断れず仕方なく飲んでしまった等の事実があった場合は，学生支援課又は学生相談室で対応しますので連絡してください。

成人に達してアルコールを口にする場合も，下記のことに留意し，楽しく飲むよう心がけてください。

○自分の適量を守る
○周りに煽られても一気飲みをしない
○飲酒後は車の運転をしない

☆SNS利用にあたって☆

SNS（Facebook,Twitter,LINE 等）を頻繁に利用している方も多いかと思いますが，SNS 利用に関するトラブルが近年増加しています。

自身で情報を発信する際は，

- 他人のプライバシーを侵害していないか
  （他人の写真や情報を載せる等）
- 自身のプライバシー設定は適切か
  （自分の意図しない範囲まで情報が広まる等）
- 迷惑行為をしていないか
  （誹謗中傷や不適切な発言や写真，動画の投稿等）
- 秘密にすべき内容を載せていないか
  （アルバイト先等の内部情報等）

など，トラブルを引き起こすまたはトラブルに巻き込まれる可能性はないかを一度考えてから投稿するなど注意が必要です。

SNS は，自身の身近な人だけでなく，日本中，世界中の人に情報を発信していることを忘れずに良識をもって利用してください。

☆悪徳商法にご注意！☆

（大学生は狙われています）

大学生は，社会との関連も深まり，経済活動範囲も広がりますが，社会的経験が乏しいことから様々なトラブルに巻き込まれる可能性が大きい年代です。親元から離れて自立した生活になり，学生本人があらゆる面で契約する機会が多くなります。

物品の購入，アパートの入居等，他人と契約する時は，事前に十分検討し，保護者等に相談したうえで行ってください。

万一，被害に遭った（思われる）場合は学生支援課に連絡してください。相談できる機関等を紹介します。

特に若者が被害に遭いやすい悪徳商法の一例は下記のとおりです。

○ワンクリック請求（パソコンや携帯電話のアダルトサイトで高額な料金を請求する）
○無 料 商 法（無料であることを強調して勧誘し，商品等を契約させる）
○サクラサイト商法（サイト業者に雇われた“サクラ”が芸能人社長などのキャラクターになりすまし，メールの有料サービスを利用させ，その度に料金を請求する）
○デート商法（間違い電話，メール等で販売目的を隠して近づき，巧みな話術で好意を抱かせ，それに付け込んで商品等の契約を行わせ，その後行方をくらます）
○マルチ商法（加盟者が新規加盟者を誘い，その加盟者が別の加入者を誘うという連鎖により組織を拡大し，新規加入者や配下の加盟者の支払う加盟料，商売上により自分の利益が増える仕組み。加盟者を勧誘できず，商品は売れず，損することが多い）
○キャッチセールス（繁華街等でアンケート調査と称して声を掛け，事務所等に連れて行き，不安を煽るなどして商品やサービスを契約させる）
○アポイントメント セールス（抽選に当たった，モニターに選ばれた，などと販売目的を明らかにしないで，事務所等へ呼びだし，契約しないと帰れない状況にして商品等の契約を迫る）

学生支援課
から

交通事故防止



加害者

1．精神的苦痛
2．刑事処分　例（懲役・禁固の実刑，罰金）
3．行政処分　例（免許取消，免許停止）
4．損害賠償　例（将来の生活を左右することも）
5．大学の懲戒処分　例（退学，無期停学，停学）
6．卒業の延期　例（国家試験の免許が得られないこともある）
7．被害者の後遺症等に対する経済的補償





被害者

1．精神的苦痛
2．働き手を失い，経済的破綻等による将来の不安
3．家庭が暗くなる
4．家族がノイローゼ
5．故人が，毎日夢に出てくる
6．怒り



大学構内の交通規制等について

通学での自動車及びバイクの利用については，交通事故防止と教育・研究並びに環境の保全を目的として，一定の条件をもとに許可をしています。皆さんの通学には，徒歩，自転車，或いは公的交通機関を利用することをおすすめしています。

構内道路では，学生と思われる無断駐車が多数見受けられ，歩行者の通行を阻害する等，荷物の搬入，緊急車両の通行に支障が出ています。（駐車場の利用を希望する者は本学が開催する「交通安全セミナー」を受講のうえ「駐車場使用許可申請書」を提出し「駐車場許可証」の交付を受けてください）

また，マフラーの改造等による騒音で授業が一時中断される等教育・研究環境が損なわれつつあります。学外においても，本学学生による不法駐車に対する苦情が多くなっています。（特に隣接する民家等への無断駐車並びに路上への違法駐車は警察に通報が行われます）帯広畜産大学の学生として，良識ある行動を取るよう，切望します。